



－しょうないマーチング委員会－

日 時：2019年4月22日(月)

場 所：山形県酒田市

内 容：マーチング活動取材、顧客訪問



北星印刷さんのすぐ前に鳥海山と桜



北星印刷 本社



傘福



酒田大獅子一家
あかちゃん獅子

取材状況



しょうないマーチング委員会 岩間代表



岩間代表と土田さん



酒田の魅力紹介 (山居倉庫)



- ・市街の南部、新井田川の河口近くにある庄内米の貯蔵庫で、その歴史は藩政時代に遡る。
 - ・現在の倉庫は1893（明治26）年に建てられたもので、土蔵造12棟が並び、倉庫前の船寄や裏手のケヤキ並木と相まって往時を偲ばせる。
 - ・そのうちの1棟を、米券や農具類を集める庄内米歴史資料館及び酒田市観光物産館として開放している。
 - ・背後を囲むケヤキの大木は日よけ、風よけの役目を果たし、自然を利用した低温管理が行われている。
- ドラマ・映画「おしん」の舞台としても有名。



酒田の魅力紹介 (日和山公園)



- 酒田港、市街、日本海、最上川から出羽三山まで一望に尽し、園内には芭蕉の句碑や木造六角燈台、大正時代の医院、西廻り航路開発に貢献した河村瑞賢の記念像などがある。

- 桜の名所でもあり、毎年4月には酒田日和山桜まつりが開催される。

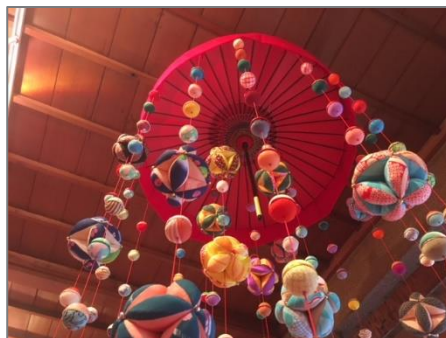
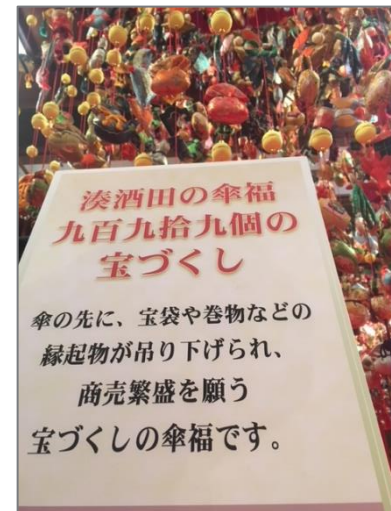


酒田の魅力紹介 (山王クラブ) 日本三大つるし飾りの常設展示中



- ・明治28年建築の料亭「山王くらぶ」が、110余年の時を経て、新たな観光拠点として生まれ変わりました。この建物は、酒田で一、二の格式を誇った老舗料亭にふさわしく、各部屋ごとの組子建具、床の間などは銘木をふんだんに使った優れた意匠となっています。
- ・館内には、北前船でにぎわった時代を中心とした展示エリアと、市民と観光客がふれあう傘福などの体験工房と常設展示室などがあります。

出典：酒田市役所 http://www.city.sakata.lg.jp/bunka/bunkazai/bunkazaishisetsu/sannou_club.html



酒田の魅力紹介 (舞娘茶屋 相馬樓 竹久夢二美術館)



- ・舞娘茶屋・雛蔵画廊 相馬樓は、江戸時代より料亭「相馬屋」として賑わっていました。
- ・現在残る木造の主屋は、明治27年の庄内大震災の大火で焼失した直後、残った土蔵を取り囲んで建てられたもので、平成8年11月、国の登録文化財建造物に指定されました。
- ・伝統に新しい息吹を加えて修復した相馬樓は、1階の20畳部屋を「茶房くつろぎ処」とし、2階の大広間は舞娘さんの踊りとお食事を楽しむ演舞場に、かつての厨房は相馬樓酒田舞娘のけいこ場となっています。
- ・また、楼内の土蔵には雛人形や樓主・新田嘉一所有の書画や古美術等を展示しています。



酒田の魅力紹介 (本間美術館)



- ・幕末には3万石の年貢を納める日本一の大地主であった本間家の別邸を昭和22年に美術館にしたもので、古書、骨董、絵画など本間家収集の美術品が展示されています。
- ・本間氏別邸庭園（鶴舞園：かくぶえん）は国指定名勝で、文化十年（1813）、四代・本間光道が築造した鳥海山を借景とする池泉回遊式庭園。

